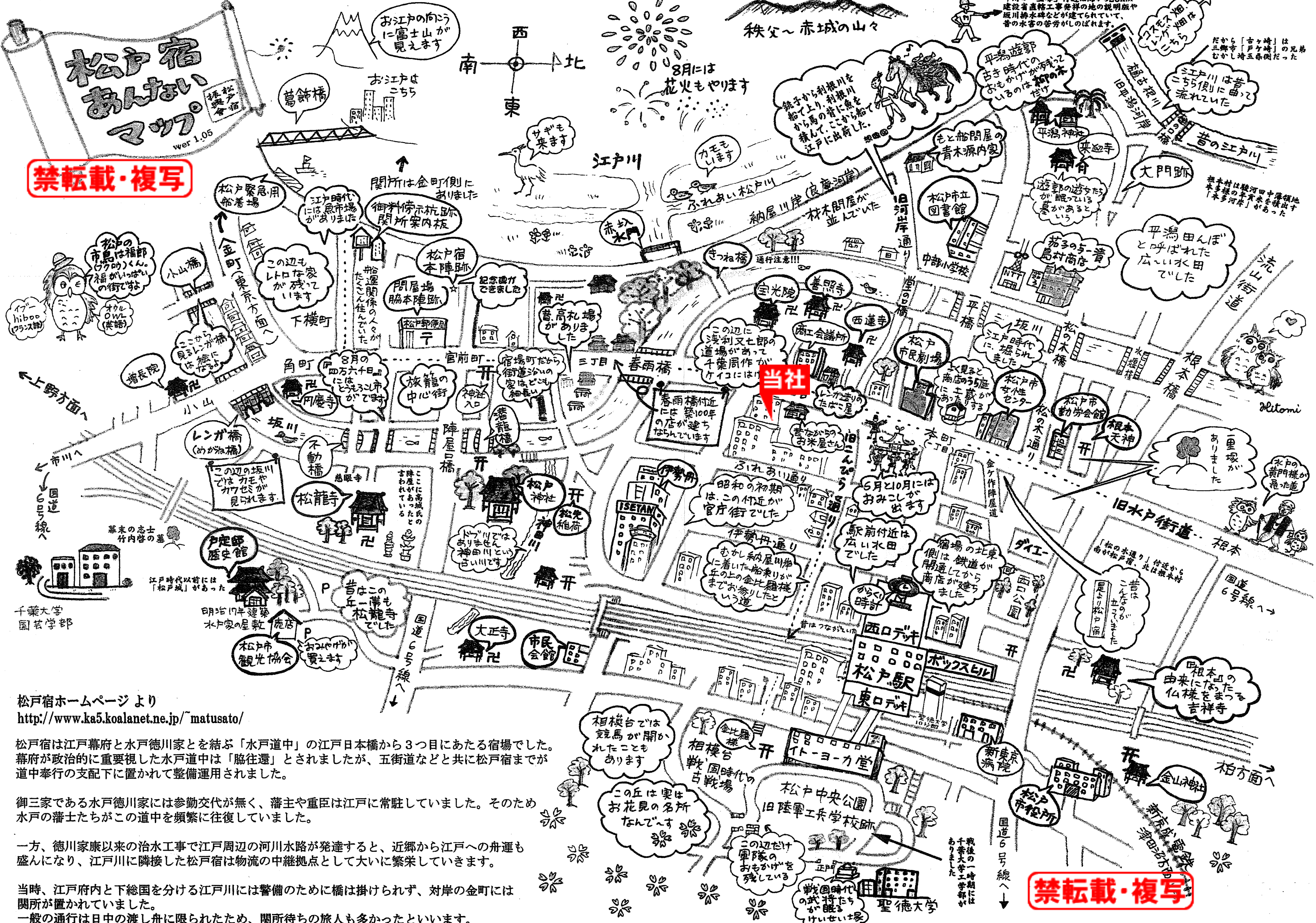


松戸宿 あんぱい マップ

ver 1.05

禁転載・複写



松戸宿ホームページより
<http://www.ka5.koalnet.ne.jp/~matusato/>

松戸宿は江戸幕府と水戸徳川家とを結ぶ「水戸道中」の江戸日本橋から3つ目にあたる宿場でした。幕府が政治的に重要視した水戸道中は「脇往還」とされましたが、五街道などと共に松戸宿までが道中奉行の支配下に置かれて整備運用されました。

御三家である水戸徳川家には参勤交代が無く、藩主や重臣は江戸に常駐していました。そのため水戸の藩士たちがこの道中を頻りに往復していました。

一方、徳川家康以来の治水工事で江戸周辺の河川水路が発達すると、近郷から江戸への舟運も盛んになり、江戸川に隣接した松戸宿は物流の中継拠点として大いに繁栄していきます。

当時、江戸府内と下総国を分ける江戸川には警備のために橋は掛けられず、対岸の金町には関所が置かれていました。一般の通行は日中の渡し舟に限られたため、関所待ちの旅人も多かったといひます。

禁転載・複写